

こうや清 県政レポート

かながわ民進党県議
団

横浜市保土ヶ谷区版
(平成28年秋季号)

横浜市保土ヶ谷区西谷町 623
TEL 383-1290
FAX 383-1291
kohya.kiyoshi@gmail.com
www.kohya-kiyoshi.com

かながわ民進党県議団保土ヶ谷区版(平成29年春季号)

29年第1回県議会閉幕 目指すぞ！笑顔で暮らせる超高齢社会

「スマイルあふれるかながわ」へ議会と知事、結束

3月24日、平成29年度予算案など全ての議案を可決し、県議会が閉幕しました。

予算案は皆が笑顔で暮らせる超高齢社会「スマイルあふれるかながわ」を目指し、1、共生でスマイル2、未病改善でスマイル3、マグネットスマイルを三本柱に厳しい財政状況にあっても、議会と練り上げた「ともに生きる社会かながわ憲章」の実現へ腐心した予算案で議会は着実確実な執行を強く要望して承認しました。

会計別平成29年度予算額 (単位:百万円、%)		
区分	H29年度予算額	対前年度伸率
一般会計	1,940,231	96.3
特別会計	1,225,784	98.2
企業会計	108,663	100.3
総計	3,274,678	97.2

当初予算等の重点的な取組み

経済のエンジン

- 行ってみたい神奈川の観光魅力づくり
(予算額) 6億1,009万円
- 資源循環型・スマートエネルギー計画の推進
(予算額) 7億8,437万円
- ロボットと共生する社会の実現
(予算額) 2億9,700万円

健康長寿

- 健康長寿社会実現に向けた未病改善の取組み
(予算額) 7億1,614万円
- 「ともに生きる社会かながわ憲章」の実現に向けた取組み
(予算額) 2億907万円
- 地域医療体制の整備・充実及び高齢者支援施策の推進
(予算額) 207億41,18万円
- 先端医療技術開発の基盤と体制づくりの推進
(予算額) 19億9,101万円
- 「人生100歳時代」に向けた取組み
(予算額) 7億9,525万円
- 「人生100歳時代の設計図」推進事業費 936万円

- 産業集積の促進と海外との経済交流の促進
(予算額) 64億714万円
- 中小企業・小規模企業活性化の推進
(予算額) 83億8,002万円
- 農業・水産業の活性化と鳥獣被害対策
(予算額) 2億861万円

安全・安心

- 安全で安心なまちづくり
(予算額) 932億8,690万円

ひとのチカラ

- 子ども・子育ての支援
(予算額) 1,096億円
- ラクビーワールドカップ及び東京オリンピックに向けた取り組み
(予算額) 13億1,393万円
- 県立高校改革及び県立教育施設整備の推進
(予算額) 170億460万円

まちづくり

- 地方創生に向けた取組み (予算額) 7億97万円

《事業のイメージ》

人生100歳時代のかながわ実現会議(仮称)
県・市町村・大学・専門学校・民間・NPO等・ハローワーク等

中高齢者の活躍のためのしくみづくり

意識啓発

こうや県議が手掛けたスポーツ推進条例案、可決

スポーツ大好き、高谷県議の面目躍如

スポーツ振興に関する施策を提言する県スポーツ振興審議会（学識経験者やスポーツ功労者など十二人で構成）が知事に答申した「神奈川県スポーツ推進条例案」がこの県議会で満場一致で採択されました。議会からは2名の枠で送りこまれていますが、その1名に高谷県議は委員として勤めています。

2020東京オリンピック、その前後に開催されるワールドカップ、ネンリンピックが県内各地で開催されます。その機運を高め、成功を期して県は従来、教育委員会や県民局などにばらばらになっていたスポーツ関係行政を一元化してスポーツ局が昨年度新設されました。昨年十月に開催されたスポーツ振興審議会でのスポーツ局設置の議案審議中、「スポーツ行政一元化の局設置よりも推進条例の制定が先ではないか！県がもたもたしているなら議員提案の条例案を出す！」と当局に条例案提出を督励しました。以後、「スポーツ推進条例案」の議会提出準備が本格化し、審議会では数度の審

議をし、県民アンケートを実施して意見も聴取してようやく成案を得、今議会に提出され、もちろん全会派満場一致で採択されたわけです。

神奈川県スポーツ推進条例の制定により、県はスポーツ推進のためより明確に具体的に責任を負うことになりました。

県民の誰もが生涯にわたりスポーツを楽しみ、もって県民の心身の健全な発達、健康で明るく豊かな生活及び活力ある地域社会の実現に寄与することを目的のもと、県はスポーツの推進に関する総合的な施策、子どものスポーツ推進、地域におけるスポーツの推進、自然環境を活用したスポーツの推進、安心してスポーツのできる環境の整備、障害者のスポーツの推進、競技力の向上、拠点施設の整備等を総合的に策定し、実施する責務を負い、市町村との連携を図り、県民、学校、スポーツ団体及び事業者と連携、協働することにより施策の効果的な推進に努めなければなりません。

ご案内

平成29年度横浜清山会総会
並びに県政報告会

日時

5月14日（日）午前11時30分

会場

㈱イズミ産業、広美

会費

2,000円

“地域と行政を結ぶホットライン”に徹底歩み続けた、
こうや清の30年
(その5)

民社党を離党し、新生党へ

平成6年頃は、長年の自民党一党支配を打破しようと細川護熙氏や小沢一郎氏ら従来の革新側からの分派活動に過ぎなかった政界再編の新たな波が保守側から沸き起こってまいりました。

民社党の現状に強い不満を抱いていた私の興奮は、あの小沢一郎氏が羽田孜氏ら同志と鉄の結束を誇っていた自民党田中派を出て、新生党を結党したとき頂点に達しました。

お尻に火が付いた思いで居ても立ってもいられません。県議選挙を翌年に控えた平成6年の夏でした。

一早く新生党に入党し、民社党県議団を離脱、一人会派ながら「新生党県議団」を立ち上げていた故佐藤正之県議のもとへ

うに足繁く通い出しました。

民社党も雰囲気的には自民党長期政権を打破するための政界再編を模索してはいましたが、労組とのしがらみの中で逡巡するものが多く遅々として現実化していませんでした。私のイライラは募るばかりです。

そうした中です。佐藤先生から「応募者が多数いる。保土ヶ谷区からも希望者がいる。早くしないと公認されないぞ！」という性急かつ強烈な入党勧誘もあったのは……。業を煮やした私は、「いずれ又一緒になるんだから一足先に民社党を離党します！」と田中けいしゅう先生に仁義を尽くし、新生党に入党しました。民社党仲間からの“裏切り者”という公然の批判を背に受けながら……

(以下、次号)

春のバスツアー

迎賓館赤坂離宮見学

(靖国神社ほか都内遊覧)

◎日時 4月23日（日）

◎募集 90名

◎会費 7,000円